

# 市 研 特別活動 速報

## 【低学年部会】

発行日 平成29年1月19日

横浜市立小学校特別活動研究会

会 長 高橋 宏明

研究テーマ 明るい未来を切り拓く子どもを育てる学級活動の在り方  
～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるには～

活 動 名 『ゴーゴークローバー6さい にゅう学パーティー』をひらこう

### ○活動のねらい

『ゴーゴークローバー6さい にゅう学パーティー』をひらこう」の活動を通して、自分の思いを伝え、自分のよさに気付きながら、友達と一緒に活動しようとする態度を育てる。

### ○テーマにせまるための具体的な手立て

- ・自分の思いを確かめられるように、自分がその役割を選んだ理由やめあてをグループの友達に伝える「宣言タイム」を設ける。
- ・自分のよさを自覚することができるように、友達と一緒に自分の「スペシャルめいし」を作る。
- ・自分の思いは伝えると実現できるということが分かるように、プログラムの中に全員の思いが実現できるコーナーを設ける。

### ○研究討議・講評から

- ・「スペシャルめいし」の中に自分が頑張ったと思うことだけでなく友達が見付けてくれた自分のよさが一緒に貼られていることで、よさ見付けの視点が広がり、今まで気付かなかった自分のよさを発見することができる。また、自分が頑張ったことと友達が見付けてくれた自分のよさが一致することで、根拠のある確かな自信につながる。
- ・低学年から友達のよさに目を向けられることは素晴らしいことである。ただ、それは手立てをうたなければならない。友達のよさを見付ける視点を広げるような手立てを考えていきたい。
- ・集会を繰り返し行うことで、子どもたちは役割が分かったり、めあてを意識して集会の準備に取り組んだりすることができるようになる。今回の活動では、活動後すぐに振り返り、自分の頑張りを書き溜めていたことでいつでも振り返ることができるのでよかった。
- ・「クラスのよいところは？」といきなり投げかけても低学年の子どもたちには難しくなかなか出てこない。今回の実践のように「自分の頑張りが認められる」または「友達の頑張りを認めてあげる」ことを繰り返すことで学級のよさが見えてくるようになる。
- ・クラスキャラクターの誕生会（集会）が今回の活動で6回目である。同じ集会を繰り返し行っていくよさもあるが、文化的な集会やスポーツ的な集会などのいろいろな集会を経験することも大切である。集会を運営する力を身に付けていくとともに、工夫すればいろいろな集会ができるということを経験させていきたい。